

南風原町立小中学校の教育環境に関するアンケート調査集計結果

1. 調査方法及び回答者属性

- (1) 調査対象：南風原町小中学校教員
 - (2) 調査日：令和6年1月31日～2月8日
 - (3) 回答数：173名 教員数287名 回答率60.3%
- ※設問1及び設問2で所属と年齢を聞いています。

表1：年齢別回答者数

学校名	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	合計	学校別割合	学校規模
南風原小学校	5	6	4	6	0	21	12.1%	過大規模校
津嘉山小学校	5	3	9	7	3	27	15.6%	
北丘小学校	7	7	5	6	2	27	15.6%	
南風原中学校	10	9	15	9	5	48	27.7%	
翔南小学校	5	2	10	6	1	24	13.9%	適正規模校
南星中学校	5	5	11	4	1	26	15.0%	
合計	37	32	54	38	12	173		
年齢別割合	21.4%	18.5%	31.2%	22.0%	6.9%			

※各割合は少数第2位四捨五入のため合計値が100%にならないことがあります。以降、表・グラフ等同様となります。

【過大規模校における回答者割合】

過大規模校では、回答がもっとも多かったのは南風原中学校で、48名で、39.0%を占めています。3つの小学校では南風原小学校が21名、津嘉山小学校及び北丘小学校が27名回答しており、それぞれ17.1%、22.0%となっています。

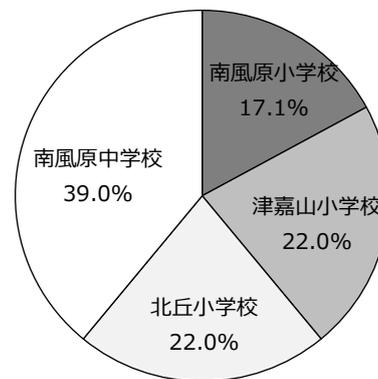


図1：過大規模校における回答者割合

【適正規模校における回答者割合】

適正規模校では、翔南小学校が24名、南星中学校が26名回答しており、おおむね全体を2分した回答数となっています。

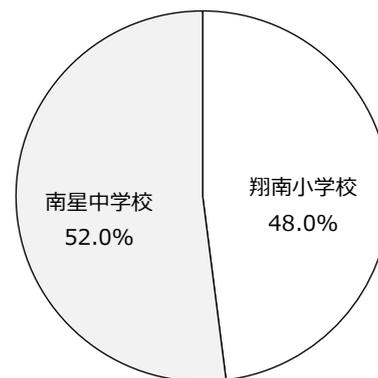


図2：適正規模校における回答者割合

【学校規模別回答者年齢割合】

過大規模校の回答者は60歳以上以外の各年代が、20%程度でほぼ均等に分布しています。適正規模校では40代が他の世代に比べ2倍ほど多く回答しています

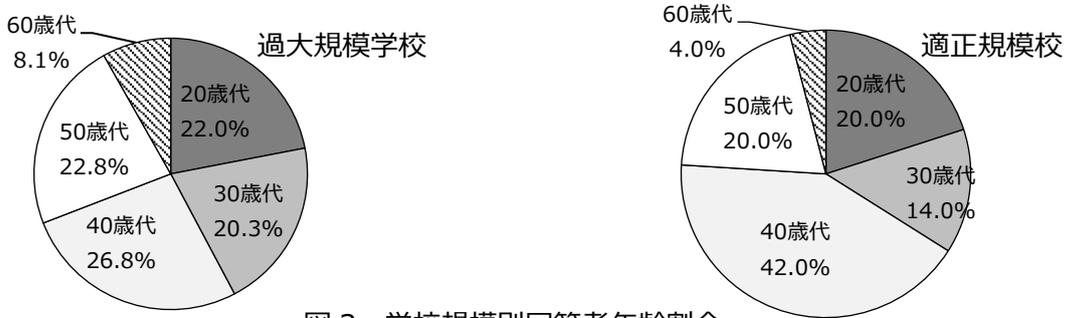


図3：学校規模別回答者年齢割合

【学校別回答者年齢分布】

南風原小学校及び北丘小学校の回答者は、20～30代でおおむね半分を占めています。その他の学校では40代が他の世代に比べ多く31.3%～42.3%となっています。

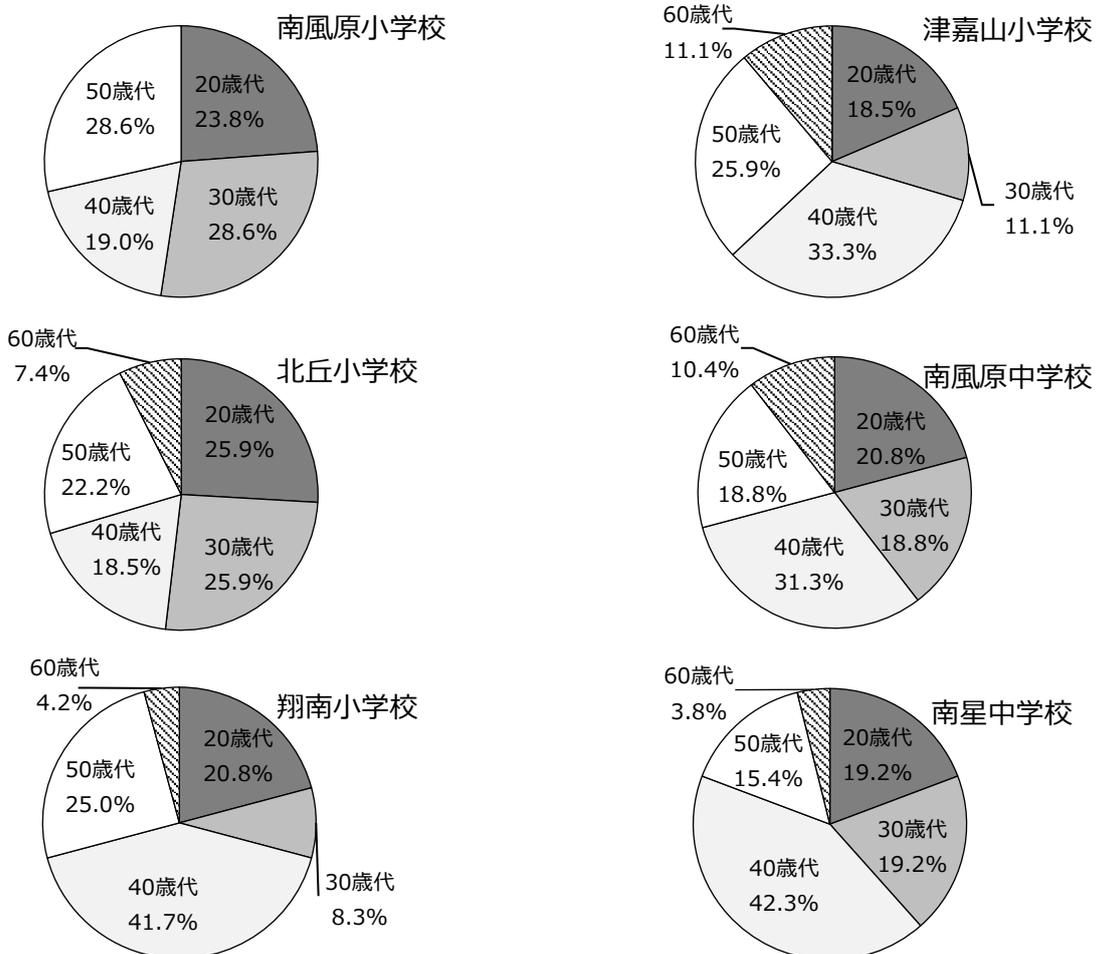


図4：学校別年齢分布

2. アンケート結果集計

アンケート結果を集計しました。集計の対象は下記設問です。

表 2：設問内容

質問番号	設問内容	選択肢
問 3	現在勤務している学校の児童生徒数や学級数はどう感じますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・かなり多いと感じる ・多いと感じる ・適正だと感じる ・少ないと感じる ・かなり少ないと感じる
問 5①-1	学校行事等において、児童生徒が活躍する場や機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・そう思う ・少しそう思う ・どちらともいえない ・あまり思わない ・そう思わない
問 5②-1	集団生活において同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が設定しにくい。	
問 5③-1	同学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童生徒間の人間関係が希薄化している。	
問 5④-1	教員集団として、児童生徒一人一人の個性や行動を把握し、きめ細やかな指導を行うことが困難であり、問題行動が発生しやすい。	
問 5⑤-1	児童生徒一人あたりの校舎面積、運動場面積等が狭く、教育活動の展開に支障が生じている。	
問 5⑥-1	特別教室（理科室、家庭科室、音楽室等）や体育館、プール等の利用に当たって授業の割り当てや調整が難しい。	
問 5⑦-1	学校運営全般にわたり、校長が一体的なマネジメントを行ったり、教職員が十分な共通理解を図るのが困難になっている。	
問 5⑧-1	学校と保護者・地域社会が連携した教育活動が展開しにくい。	

設問 3：【学校規模について】

現在勤務している学校の児童生徒数や学級数はどう感じますか。（1つ選択）

表 3：設問 3 集計結果

	かなり多いと感じる	多いと感じる	適正だと感じる	少ないと感じる	かなり少ないと感じる	合計
過大規模校	69	49	5	0	0	123
適正規模校	3	11	34	2	0	50
合計	72	60	39	2	0	173

【過大規模校における回答】

過大規模校では、勤務している学校の児童生徒数や学級数について、56.1%が「かなり多い」と感じています。「かなり多い」と「多いと感じる」を合わせると 95.9%となります。「かなり少ないと感じている」及び「少ないと感じている」はともに 0 で、回答者のほとんどが、児童生徒数は多いと感じています。

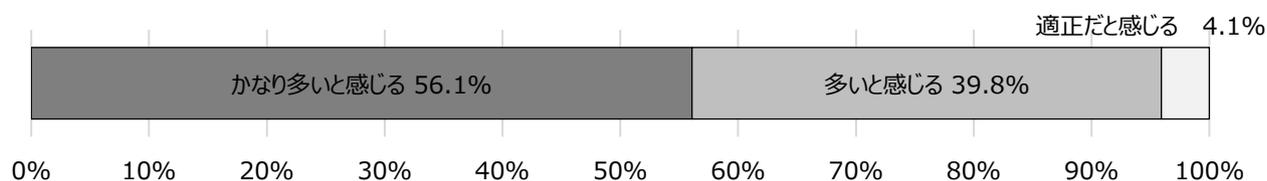


図 5：過大規模校における回答割合

【適正規模校における回答】

適正規模校では、勤務している学校の児童生徒数や学級数について、68.0%が「適正」だと感じています。「かなり多い」と「多いと感じる」も合わせると 28.0%を占めています。適正規模校では児童生徒数は適正であると感じています。



図 6：適正規模校における回答割合

設問 5：大規模校・過大規模校のデメリットについて

【過大規模校における回答】

表 4：過大規模校 問 5 回答集計結果

設問番号	そう思う	少し思う	どちらともいえない	あまり思わない	そう思わない	合計
問 5①-1	23	30	38	23	9	123
問 5②-1	32	44	25	16	6	123
問 5③-1	41	52	13	15	2	123
問 5④-1	47	47	17	9	3	123
問 5⑤-1	66	29	15	7	6	123
問 5⑥-1	66	31	15	7	4	123
問 5⑦-1	27	35	27	25	9	123
問 5⑧-1	22	30	44	17	10	123

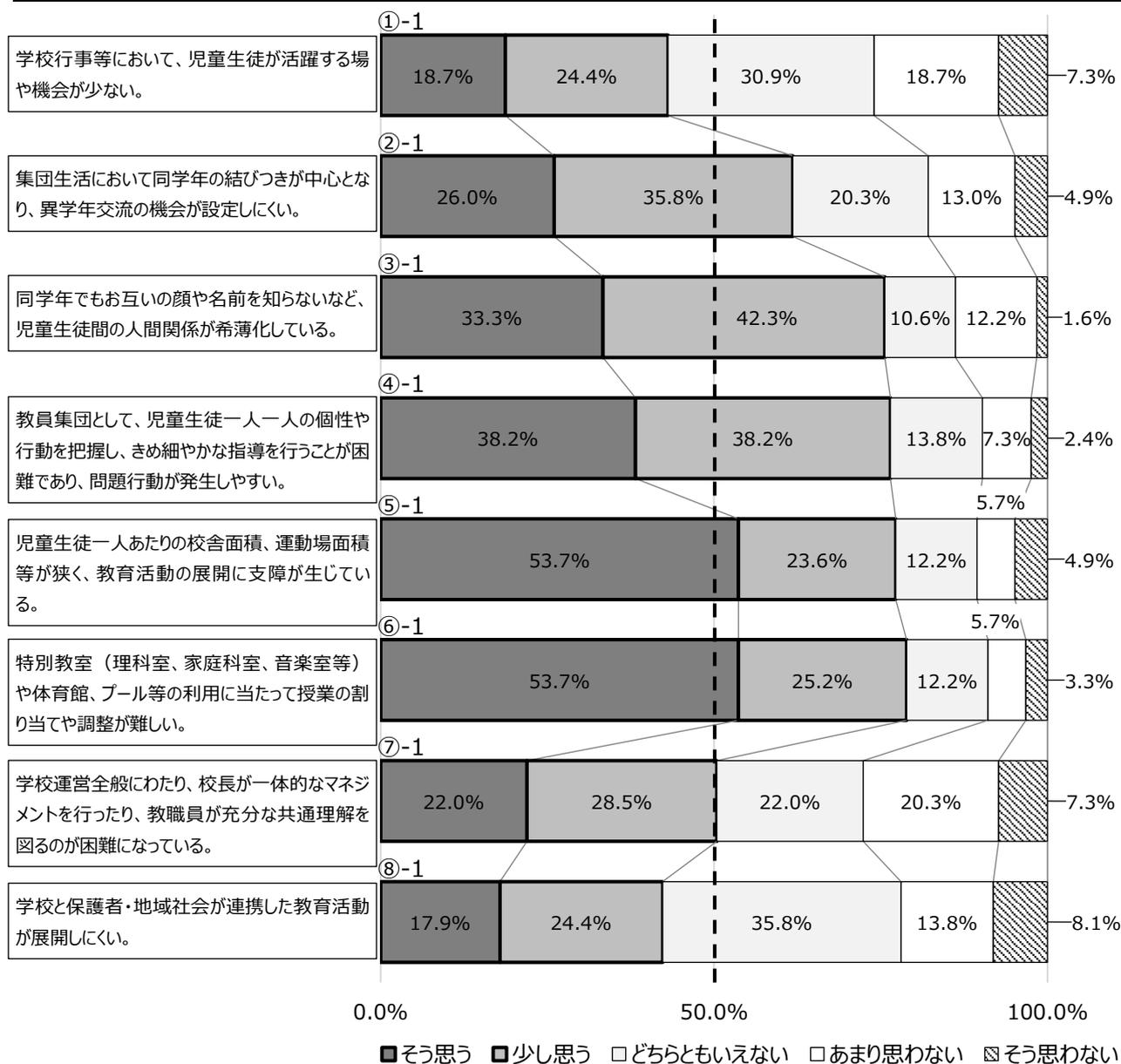


図 7：過大規模校における回答割合

表 5：過大規模校 集計評価

設問番号	内容
問 5①-1	過大規模校では、設問に対し、18.7%が「そう思う」と回答しています。「そう思う」と「少し思う」を合わせると43.1%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると26.0%となり、児童生徒が活躍する場や機会が少ないとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は30.9%となっています。
問 5②-1	過大規模校では、設問に対し、26.0%が「そう思う」と回答しています。「そう思う」と「少し思う」を合わせると61.8%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると33.3%となり、集団生活において同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が設定しにくいとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は20.3%となっています。
問 5③-1	過大規模校では、設問に対し、33.3%が「そう思う」と回答しています。「そう思う」と「少し思う」を合わせると75.6%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると12.8%となり、同学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童生徒間の人間関係が希薄化していると思っているとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は10.6%となっています。
問 5④-1	過大規模校では、設問に対し、38.2%が「そう思う」と回答しています。「そう思う」と「少し思う」を合わせると76.4%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると9.7%となり、教員集団として、児童生徒一人一人の個性や行動を把握し、きめ細やかな指導を行うことが困難であり、問題行動が発生しやすいと思っているとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は13.8%となっています。
問 5⑤-1	過大規模校では、設問に対し、53.7%が「そう思う」と回答しています。「そう思う」と「少し思う」を合わせると77.3%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると10.6%となり、児童生徒一人あたりの校舎面積、運動場面積等が狭く、教育活動の展開に支障が生じているとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は12.2%となっています。
問 5⑥-1	過大規模校では、設問に対し、53.7%が「そう思う」と回答しています。「そう思う」と「少し思う」を合わせると78.9%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると9.0%となり、特別教室（理科室、家庭科室、音楽室等）や体育館、プール等の利用に当たって授業の割り当てや調整が難しいと思っているとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は12.2%となっています。
問 5⑦-1	過大規模校では、設問に対し、22.0%が「そう思う」と回答しています。「そう思う」と「少し思う」を合わせると50.5%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると27.6%となり、学校運営全般にわたり、校長が一体的なマネジメントを行ったり、教職員が十分な共通理解を図るのが困難になっているとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は22.0%となっています。
問 5⑧-1	過大規模校では、設問に対し、17.9%が「そう思う」と回答しています。「そう思う」と「少し思う」を合わせると42.3%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると21.9%となり、学校と保護者・地域社会が連携した教育活動が展開しにくいとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は35.8%となっています。

【補足】

過大規模校においては、大規模校・過大規模校のデメリットについて設問②～⑦に対し、「そう思う」「少し思う」の合計が過半数を超えており、教育現場でも設問のデメリットを感じていることがうかがえます。

特に「③-1 同学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童生徒間の人間関係が希薄化している。」「④-1 教員集団として、児童生徒一人一人の個性や行動を把握し、きめ細やかな指導を行うことが困難であり、問題行動が発生しやすい。」「⑤-1 児童生徒一人あたりの校舎面積、運動場面積等が狭く、教育活動の展開に支障が生じている。」及び「⑥-1 特別教室（理科室、家庭科室、音楽室等）や体育館、プール等の利用に当たって授業の割り当てや調整が難しい。」は「そう思う」「少し思う」の合計が70%を超えています。

【適正規模校における回答】

表 6：適正規模校 問 5 回答集計結果

設問番号	そう思う	少し思う	どちらともいえない	あまり思わない	そう思わない	合計
問 5①-1		9	12	23	6	50
問 5②-1	10	18	8	11	3	50
問 5③-1	5	11	11	17	6	50
問 5④-1	5	18	11	12	4	50
問 5⑤-1	9	12	7	12	10	50
問 5⑥-1	4	9	14	17	6	50
問 5⑦-1	1	7	7	30	5	50
問 5⑧-1	1	6	16	22	5	50

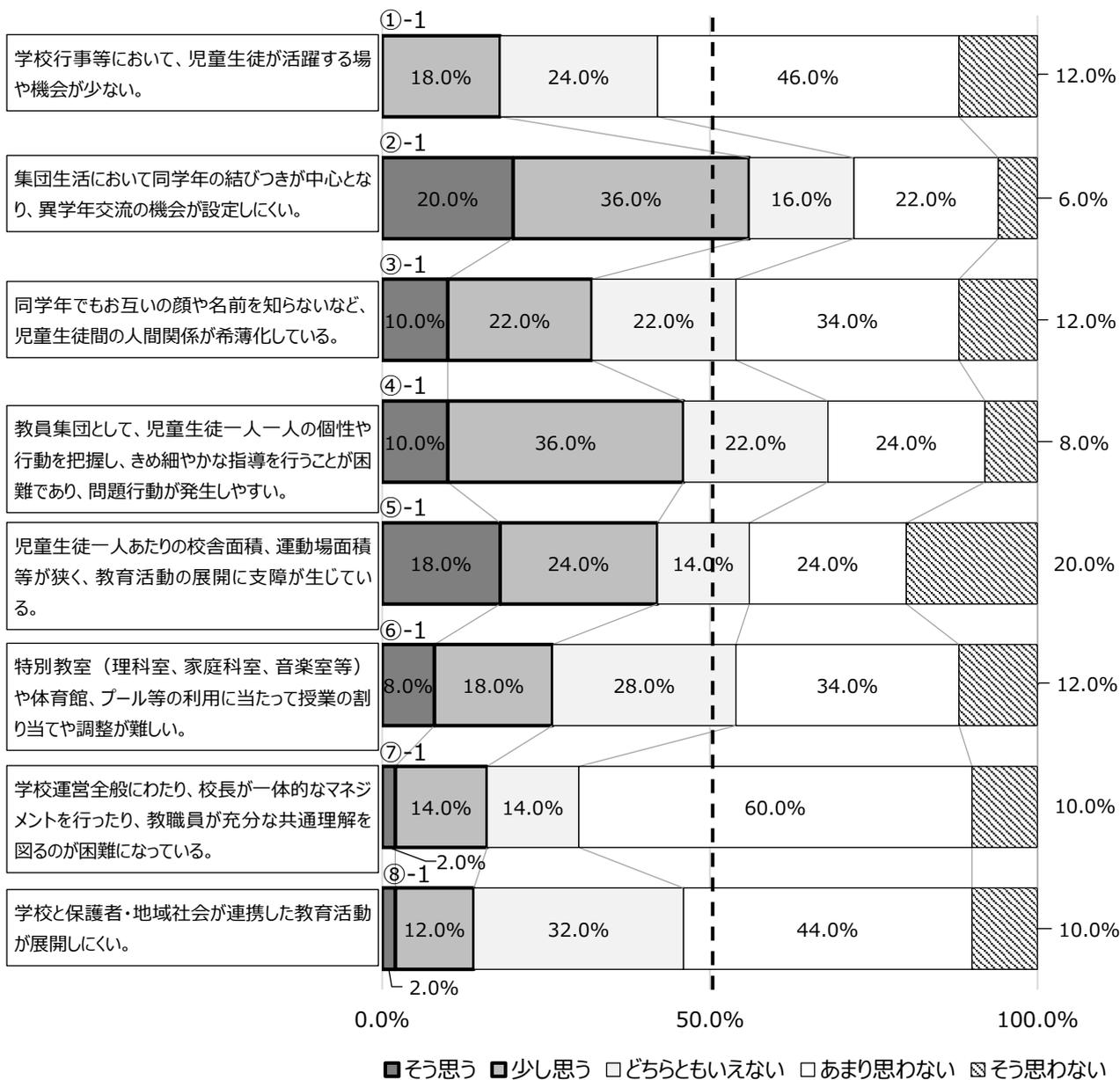


図 8：適正規模校における回答割合

表 7：適正規模校 集計評価

設問番号	内容
問 5①-1	適正規模校では、設問に対し、「そう思う」の回答は有りません。「少し思う」の回答が 18.0%です。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると 58.0%となり 5 割以上を占めています。「どちらともいえない」と回答している教員は 20.4%です。 過大規模校では、児童生徒が活躍する場や機会が少ないと感じ、適正規模校ではあまり児童生徒が活躍する場や機会が少ないとは感じていないという回答結果になっています。
問 5②-1	適正規模校では、設問に対し、20.0%が「そう思う」と回答しています。「そう思う」と「少し思う」を合わせると 56.0%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると 28.8%となり、集団生活において同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が設定しにくいとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は 16.3%となっています。 大規模校、適正規模校とも「少し思う」が最も多く、35%前後となっています。「そう思う」も 20%代で傾向は類似しているという回答結果になっています。
問 5③-1	適正規模校では、設問に対し、10.0%が「そう思う」と回答しています。「少し思う」が 22.0%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると 46.0%となり、集団生活において同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が設定しにくいと感じているとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は 16.3%となっています。 過大規模校では、同学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童生徒間の人間関係が希薄化していると感じ、適正規模校では児童生徒間の人間関係が希薄化しているとは、あまり感じていないという回答結果になっています。
問 5④-1	適正規模校では、設問に対し、10.0%が「そう思う」と回答しています。「そう思う」と「少し思う」を合わせると 46.0%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると 22.0%となり、児童生徒一人一人の個性や行動を把握し、きめ細やかな指導を行うことが困難であり、問題行動が発生しやすいと思っているとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は 22.0%となっています。 過大規模校では、きめ細やかな指導を行うことが困難であり、問題行動が発生しやすいと考え、適正規模校ではその傾向がやや低いという回答結果になっています。
問 5⑤-1	適正規模校では、設問に対し、18.0%が「そう思う」と回答しています。「そう思う」と「少し思う」を合わせると 42.0%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると 44.0%となり、児童生徒一人あたりの校舎面積、運動場面積等が狭く、教育活動の展開に支障が生じているとの考えの「思う」「思わない」は半々となっています。「どちらともいえない」の回答は 14.0%となっています。
問 5⑥-1	適正規模校では、設問に対し、8.0%が「そう思う」と回答しています。「少し思う」が 18.0%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると 46.0%となり、特別教室（理科室、家庭科室、音楽室等）や体育館、プール等の利用に当たって授業の割り当てや調整が難しいとは思っていないとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は 28.0%となっています。
問 5⑦-1	適正規模校では、設問に対し、2.0%が「そう思う」と回答しています。「少し思う」が 14.0%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると 70.0%となり、学校運営全般にわたり、校長が一体的なマネジメントを行ったり、教職員が十分な共通理解を図るのが困難になっていると感じていないとの考えが上回っています。「どちらともいえない」の回答は 14.0%となっています。
問 5⑧-1	適正規模校では、設問に対し、2.0%が「そう思う」と回答しています。「少し思う」が 12.0%となっています。「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせると 12.0%となり、学校と保護者・地域社会が連携した教育活動が展開しにくいとの考えが上回っています。しかし「どちらともいえない」の回答は 32.0%となっています。

【補足】

適正規模校においては、大規模校・過大規模校のデメリットについて全設問に対し、「そう思う」「少し思う」の合計が過半数を超えておらず、過大規模校ほどには設問のデメリットを感じていないことがうかがえます。